

講座開催のしくみ・スケジュール

第1段階

2014.9/27 (土)
～12/19 (金)

- 日々の暮らしのなかで、隣近所などの地域の人を気遣ったり、気の合う仲間と「集いの場」などの支え合いの活動を始めたり、自治会や町内会などの住民組織が自ら地域に必要な事業に取り組んだり、地域で繰り広げられる活動や事業には、さまざまな入り口と発展のカタチがあります。
 - 関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかヒントを得たい、事業化の方法を知りたいという方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的とします。
- ※第1段階では、ご希望の開催地、開催回を、複数受講いただくことができます。

第2段階

2014.12/20 (土)
～2015.1/25 (日)

- 第1段階を受講された方で、活動や事業を立ち上げたい方を対象に、地域の課題の見つけ方や解決方法、活動や事業の立ち上げ方などを、グループワークとおして学びます。全国各地で実践する人たちの体験談やアドバイスを受けて、それぞれの「思い」をカタチにしていけることを目指します。
- ※各会場30人の定員です。第1段階を1回以上受講された方が対象となります。

第3段階

2015.1/31 (土)
～2015.2/22 (日)

- 第2段階をもとに、活動や事業を立ち上げる際に役立つ知識を学びます。
 - 事業計画書の書き方、各種制度情報などを学びます。
- ※各会場30人の定員です。第1段階と第2段階を受講された方が対象となります。

第3段階 修了後

- 講座受講者のネットワークづくりと集いの機会をサポートします。
- 平成27年度以降、フォローアップ講座の開催やアドバイザーの派遣、情報提供を予定しています。

第1段階 (日帰り/4会場各3回) | 2014.9/27 (土)～12/19 (金) 各会場とも13:00～16:30

岩手県・釜石会場	実践報告	コーディネーター	会場/定員
1回目 10/25 (土)	農村交流施設・森の巣箱 (高知県津野町)	仙台白百合女子大学 教授 大坂純	カリタス釜石ベース/40人
2回目 11/16 (日)	にしはらたんぼぼハウス (熊本県西原村)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	カリタス釜石ベース/40人
3回目 12/18 (木)	富山型デイサービス・このゆびと一まれ (富山県富山市)	仙台白百合女子大学 教授 大坂純	小佐野地区生活応援センター・大ホール/120人

宮城県・仙台会場

1回目 10/12 (日)	ボランティアグループ沖代すすめ 住民型有償サービス 沖代どんぐりサービス (大分県中津市)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	日立システムズホール仙台・エッグホール/80人
2回目 10/19 (日)	ボランティアグループすすめの会 (神奈川 川崎市宮前区)	仙台白百合女子大学 教授 大坂純	TKP仙台カンファレンスセンター・カンファレンスルーム3A/65人
3回目 12/19 (金)	富山型デイサービス・このゆびと一まれ (富山県富山市)	仙台白百合女子大学 教授 大坂純	青葉カルチャーセンター・403会議室/70人

宮城県・石巻会場

1回目 9/27 (土)	下矢部西部地区社会福祉協議会 (熊本県山都町)	仙台白百合女子大学 教授 大坂純	石巻市保健相談センター・3F講義室/45人
2回目 10/18 (土)	ボランティアグループすすめの会 (神奈川 川崎市宮前区)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	石巻市保健相談センター・3F講義室/45人
3回目 11/15 (土)	にしはらたんぼぼハウス (熊本県西原村)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	石巻市保健相談センター・3F講義室/45人

福島県・二本松会場

1回目 9/28 (日)	下矢部西部地区社会福祉協議会 (熊本県山都町)	高橋誠一・大坂純	二本松市市民交流センター・多目的室/150人
2回目 10/11 (土)	ボランティアグループ沖代すすめ 住民型有償サービス 沖代どんぐりサービス (大分県中津市)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	福島県男女共生センター・研修ホール/250人
3回目 10/26 (日)	農村交流施設・森の巣箱 (高知県津野町)	仙台白百合女子大学 教授 大坂純	二本松市市民交流センター・多目的室/150人

第2段階 (1泊2日/3会場)

2014.12/20 (土)～2015.1/25 (日)
各会場とも1日目/13:00～17:30 ナイトセッション19:00～20:00
※交流会20:00～自由参加 2日目/9:00～15:00

岩手県・釜石会場	実践報告	コーディネーター	会場・宿泊先/定員
H27.1/10 (土)～ H27.1/11 (日)	つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市) 地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市泉区) 大曾倉ふれんど・宅幼老所亀群 (長野県駒ヶ根市) 川根振興協議会 (広島県安芸高田市)	東北福祉大学 教授 高橋誠一 仙台白百合女子大学 教授 大坂純	釜石市青葉ビル 研修室/先着30人 (宿泊はホテルルートイン 釜石を予定)
宮城県・仙台会場	つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市) 地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市泉区) 塙山学区住みよいまちをつくる会 (茨城県日立市) 町四区二町内7組 (長野県駒ヶ根市)	東北福祉大学 教授 高橋誠一 仙台白百合女子大学 教授 大坂純	茂庭荘 /先着30人
福島県・二本松会場	つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市) オレンジねっと (宮城県仙台市泉区) やねだん【柳町内会】 (鹿児島県鹿屋市) お互いさまねっと公田町団地 (神奈川県横浜市区)	神戸学院大学 教授 藤井博志 東北福祉大学 教授 高橋誠一 仙台白百合女子大学 教授 大坂純	福島県男女共生 センター /先着30人

第3段階 (日帰り/3会場) | 2015.1/31 (土)～2015.2/22 (日) 各会場とも10:30～16:00

岩手県・釜石会場	実践報告	コーディネーター	会場/定員
H27.1/31 (土)	(調整中)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	仙台白百合女子大学 教授 大坂純 会場は決定次第、 お知らせいたします。 先着30人
宮城県・仙台会場	(調整中)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	仙台白百合女子大学 教授 大坂純 会場は決定次第、 お知らせいたします。 先着30人
福島県・二本松会場	(調整中)	東北福祉大学 教授 高橋誠一	仙台白百合女子大学 教授 大坂純 会場は決定次第、 お知らせいたします。 先着30人

第1段階の報告事例紹介

**ボランティアグループ沖代すすめ
住民型有償サービス どんぐりサービス (大分県中津市)**
地域の住民と専門機関をゆるやかにつなぐ。小学校区を活動エリアとするボランティアグループ「沖代すすめ」は、給食サービス、高齢者のサロン、家事援助を中心とした有償サービスなど、地域にとって必要なサービスを創出し続けている。柔軟な活動が特徴で、校区内外の団体・事業所などと垣根をつくらずネットワークを広げている。

にしはらたんぼぼハウス (熊本県西原村)

旧中学校寄宿舎を改修し、3障がい共生型の自立支援センターとして活動中。地域のボランティアやホームレスの方と協力して農業活動を行い、収穫物を加工して販売。障がいの有無を問わず利用できる交流の場として地域に開放し、時には小学生がお昼を食べに来ることも…。

ボランティアグループすすめの会 (神奈川県川崎市宮前区)

「ちょっと困った時に、気軽に鈴を鳴らしてほしい」そんな思いを込めてスタートしたボランティアグループ。地域のさまざまな自主活動団体、関係機関、専門職、地縁団体と、ネットワークを組み、地域の課題に取り組む。近所の方が気軽に個人宅に集まる「ダイヤモンドクラブ」を開催したり、見守りが必要な人を把握するマップづくりも行っている。

農村交流施設・森の巣箱 (高知県津野町)

農村交流施設「森の巣箱」は、廃校となった床鍋小中学校を、住民による100回を超える協議を通じて、ともに暮らす住民にとって使いやすく、災害時にも安心・安全が確保できる集落の拠点施設に変化させた取り組みである。また、集落内の住民によってユニークな高齢者の生きがいづくりの実践や、集落全体の合意を基盤とする見守り活動にも主体的に取り組んでいる。

富山型デイサービス・このゆびと一まれ (富山県富山市)

誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせる、そんなまちづくりを目指している。赤ちゃんからお年寄りまで、障害があっても一つ屋根の下でみんなと一緒に過ごし、お世話をされる側だけではなく、時にはお世話する側になることも。富山型デイサービスの草分け。

下矢部西部地区社会福祉協議会 (熊本県山都町)

山間部にある下矢部西部地区の高齢化率は、40%を超える。地区の社会福祉協議会が中心となって、廃校を交流と支え合いの拠点に、災害時に備えた宿泊体験や、生きがい健康づくり推進事業に取り組むほか、移動スーパーと連携した「移動(井戸)端会議」など、ユニークな実践を行っている。近年は拠点を小規模多機能ホーム「絆」と命名し、総合的な地域の支え合い拠点を展開しようと試行錯誤している。

●必要事項をご記入のうえ、FAX 送信してください

受講申込書



全国コミュニティライフサポートセンター
FAX 022-727-8737

住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座

フリガナ 氏名				性別	男・女
住所	〒 自宅 職場				
電話番号			FAX		
メールアドレス					
所属			職名		
現在の活動、 ご希望など	取り組みたいこと、または関心のあることを簡単にお知らせください。現在活動されている方は、内容を簡単にお知らせください。				

※第1段階を1回以上受講された方で、
第2段階と第3段階の両方を受講できる方がお申し込みいただけます。
ご希望の会場と必要事項を○で囲んでください。

受講を希望される講座の会場と
開催回を○で囲んでください。複数受講可

第1段階	岩手県 金石会場	1回目 (10/25)	2回目 (11/16)	3回目 (12/18)	第2段階	岩手県・金石会場 (1/10～11)	○宿泊の希望/あり・なし → 禁煙・喫煙 ○交流会の希望/あり・なし ※宿泊費(8,000円前後)、交流会費 (4,000円前後)は実費をご負担いただきます。
	宮城県 仙台会場	1回目 (10/12)	2回目 (10/19)	3回目 (12/19)		宮城県・仙台会場 (1/24～25)	
宮城県 石巻会場	1回目 (9/27)	2回目 (10/18)	3回目 (11/15)	福島県・二本松会場 (12/20～21)			
福島県 二本松会場	1回目 (9/28)	2回目 (10/11)	3回目 (10/26)	第3段階	岩手県・金石会場 (1/31)	※会場が確定次第、受講者にお知らせいたします。	
				宮城県・仙台会場 (2/22)	福島県・二本松会場 (2/1)		

受講申込書を受け付け後、土日祝日を除き3日以内に受信確認のFAXをいたします。会場の住所等は、受講決定のご案内でご連絡いたします。

●第2段階の報告事例紹介●

ほなやま 塙山学区住みよいまちをつくる会 (茨城県日立市)

まず顔見知りになることから始めようと、スポーツ大会を催すことから始まり、会報「かわら版」の全戸配布、夏祭りやフリーマーケットなど開催。全住民対象のアンケート調査を行い、まちのニーズや地域課題を把握。郵便局の誘致やコミュニティセンター建設運動も行う一方、防犯灯の増設やため池の公園化など生活環境にも力を入れる。

川根振興協議会 (広島県安芸高田市)

1972年の水害から始まった旧高宮町の川根振興協議会のまちづくり活動。閉店した農協の店舗とガソリンスタンドを譲り受けての営業や、廃校跡地を利用したエコミュージアムでの飲食と宿泊サービスの提供など活動は多様。地元住民が「心の過疎」から脱却を目指し、「自分たちがどう生きるか」を追求している。

つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市)

父母・兄の介護を10年間続けたのち、本人・介護者・介護職・医療者・行政・社協・議員・大学・学生・地域活動者・子ども・子育て中のママ...誰もが集える場・しゃべれる場・泣ける場・笑える場・食べる場・学べる場・ともに出かける場・生きる場として、つどい場を開く。

町四区二町内7組 (長野県駒ヶ根市)

6世帯10人、平均年齢は約75歳の地区で、さまざまな支え合い活動を展開。奥さんに先立たれ施設入所した男性の「長年住んだ家に週3回は帰りたい」という希望を叶えるため、施設までの送迎、買い物、見守りなどを隣組で行ったことも。

やねだん【柳谷町内会】 (鹿児島県鹿屋市)

通称「やねだん」と言われている柳谷集落。目指したのは「行政に頼らない地域再生」。土着菌を使った土づくりやオリジナル焼酎づくりなど、独自の商品開発で自主財源を増やし、住民の工夫で福祉や教育も充実させている。集落全戸にボーナスを出したことで有名。今話題の空き家対策や人口減少からの脱却でも注目されている。

地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市泉区)

「地域の人々でお互いに困った時は助け合い、支え合っていく」と活動している市民団体。「腰が痛いので掃除や買い物を手伝ってほしい」など、いろいろな相談を受けて活動している。地域情報誌の発行や、ふれあいサロン活動、多彩な講座も開催。「誰でも立ち寄れる地域のお茶のみサロンと手づくりショップ」になっている。

大曾倉ふれんど・宅幼老所亀群 (長野県駒ヶ根市)

中山間集落の主婦たちが、地域のお茶のみサロンの際に参加者の様子を見て、ここで暮らし続けるためには、将来介護が必要になることを実感し、宅幼老所「亀群」を開所。ほかにも、介護予防事業や各種相談、地場産品を使った加工販売、景観を大事にした地域づくりなど、さまざまな活動を展開している。

お互いさまねっと公田町団地 (神奈川県横浜市栄区)

団地住民によって発足した「お互いさまねっと公田町団地」は、団地内で空き店舗となったスペースを借り、食堂などのサロン活動や見守り支援活動を行っている。各種機関との連携とともに、「困ったときはお互いさま」の精神で孤立予防につながる生活支援を続けている。

CLC Community Life Support Center
特定非営利活動法人
全国コミュニティライフサポートセンター
(担当：橋本・堀切)
宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1階

●電話からもお申し込みいただけます。
TEL : 022-727-8730

●CLCのホームページからも申し込みができます。
http://www.clc-japan.com

復興庁 平成26年度「新しい東北」先導モデル事業

「住民主体の地域共生型支え合い活動と事業の立ち上げ支援事業」

住み慣れた地域で暮らし続けるための 支え合い活動や生きがい仕事、 生活支援サービス事業の 立ち上げ支援講座

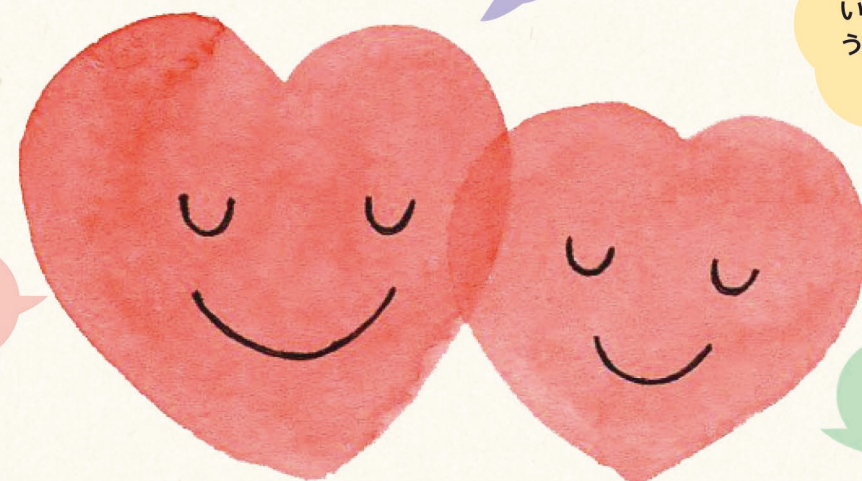
自治会で、お店や移動販売、ガソリンスタンドを運営しているところがあるんですよ！

仲良しグループでNPO法人を立ち上げ、介護保険のデイサービスとサロンを運営する方法を教えます！

災害公営住宅で助け合い活動を起こすにはどうしたらいい？

富山型デイサービスなどの、共生型福祉施設のつくり方を知りたい～！

ご近所で開く、お茶っご会などサロンの始め方をお伝えします！



事業目的

馴染みのある人たちとともに暮らし続けるために、見守りやサロンなどの「支え合い活動」や、有償の支援サービスや介護保険のサービス、お店や移動販売などの「生活支援サービス事業」を立ち上げ、住民が主役の地域コミュニティづくりの支援を目的に開催します。

主な講師

高橋 誠一 (たかはし・せいいち)

東北福祉大学 総合福祉学部 教授
北海道大学大学院経済学研究科博士課程を経て、同大学助手。
宅老所、グループホーム、ユニットケア、小規模多機能型居宅介護などの小規模ケアを研究するなかで、認知症介護やターミナルケアに関心をもつ。

大坂 純 (おおさか・じゅん)

仙台白百合女子大学 人間学部 教授
日本社会事業学校研究科を卒業後、仙台市立病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務。現在、社会福祉法人ありのまま舎理事長として、理念の「地域の中で障がいを持っていても、一人の自立した人間として生活」の実現を目指し活動中。

どなたでも受講いただけます。

全講座 受講無料

※第2段階の宿泊費・交流会費は、実費をご負担いただきます。

受講締切

受講を希望される第1段階の講座の
開催日10日前まで
別紙申込書によるFAX、または電話、
ホームページからお申し込みください。

主催 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター